（様式２）　　令和６年度　第４回学校運営協議会報告

さつま町立佐志小学校

１　開催日時　　令和６年 12 月５日（木）　18：30～19：45

２　開催場所　　佐志小学校　校長室

３　協議事項（主な質問・意見・決定事項等を協議事項ごとに簡潔にまとめる。）

(1)　２学期の学校経営について

○２学期の学校の現状について資料を基に説明を行う。

- 豊かな心（生徒指導の充実）
- 確かな学力（学力向上）
- 社会の変化への対応
- 信頼される学校づくり
- 学校裁量事項

(2)　２学期の学校評価について

○２学期の学校評価（職員・児童・保護者アンケート結果）について資料を基に説明を行う。

(3)　質疑応答・意見交換（主な質問・意見を簡潔にまとめる）

・「佐志の日」が始まったことにより，地域が，現在の学校の様子を知る機会があるのは良い。前回の学校運営協議会で授業を見せてもらい，昔とは授業の進め方が違い先生方も頑張っていることが分かり，自分も関心がある。また見に来たいと考えている。

・テストがコンピューターベースに変化していくと知り大変驚いた。都会やテレビの中だけでやっている教育ではなく，それと変わらないレベルで佐志小でも教育がなされていること，また，タイピングスキルを向上させるために，授業や休み時間で取り組んだり，さつま町がすすめるアプリを使っていたりすることも知り，大変驚いている。今後もぜひ児童に力をつけてほしい。

・これだけ時代が変化しているが，タブレットやパソコンでの入力で変換ミスはないのだろうか。自分がよく変換ミスをしてしまうため気になる。ぜひ従来までの漢字の書き取りなどの漢字力も身につけさせてほしい。

・ネットリテラシーやメディアコントロールを意識させたい。学校でも取り組んでいるのだろうが，各家庭でも保護者が更に意識を高めないといけない時代だと痛感する。学校だけでなくＰＴＡでも意識啓発をできると良い。

・児童の正しい言葉遣いや挨拶が気になるという職員の反省があったが，やはり親が手本を示すべきだと考えている。また，子どもだけでなく大人も，ありがとうと感謝の気持ちをしっかり伝えられるようにしていきたい。

・佐志小の子ども達はよく挨拶をしており気持ちが良い。それでも最近は昔に比べると減ってきた感じがする。知らない人には声をかけない方が良いという時代の流れもあるのだろうか。学校としても，地域の方や来校者に挨拶をするよう指導してくれているのが伝わる。今後も，先生方や来校者だけでなく，佐志区の人たちにも積極的に挨拶できる児童を育てて欲しい。

・運動会だけでなく学習発表会も産業祭として佐志区・佐志小合同で開催できた。佐志区の運営した側としては，好評な意見が届いており，ホッとしている。片付けも学校と佐志区が協力してその日のうちに終わってありがたかった。
・産業祭で，地域と一体となった特色ある学校づくりになり，これまで以上に学校と地域がつながった感じがしている。先生方が地域の行事に参加する機会が増え，児童も自分たちの住んでいる地域と触れ合う先生方を見て嬉しいだろうし，絶対にプラスになる。ありがたい。佐志ならではの強みである。
・産業祭と学習発表会を一緒にすることで，もし先生方の業務改善になったのなら良かったと思う。一方で，地域行事に職員が参加する機会が増えるということは，その分だけ負担もあるのではないだろうか。しかし，もし先生方も楽しんでくれて，あまり負担にならないのであれば，ぜひ今後も続けて欲しい。
・今後も学校運営協議会を軸として，佐志小や佐志区を盛り上げていきたい。

・運動場を囲んでいる柵の外側の芝生のところが坂になっているが，そこで放課後にすべって遊んでいる児童がいる。楽しいのかもしれないが，怪我をしたり事故になったりしないかとヒヤヒヤする。自分からも何度か直接注意しているが，学校も改めて指導して欲しいし，保護者にも伝えて欲しい。学校や家庭だけでなく，今後も地域も声かけしながら佐志小児童を見守り育てたい。

・児童トイレの改修工事を町教委で進めていく予定と聞き，安心した。佐志小は，体育館開放や第２グランド利用者との兼用トイレとなっているが，まずは子ども達が過ごしやすい学校にしていくことを一番優先させて欲しい。
・不審者対策として，町の予算で防犯カメラ設置がなされたと知り，良かった。何があるか分からない世の中なので，大変ありがたい。